



2023年

埼玉の



埼玉県マスコット
「さいたまっち」



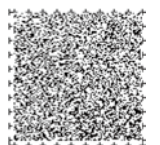
埼玉県マスコット
「コバトン」

食料・農林水産業・農山村



彩の国
埼玉県

音声コード
(Uni-Voice)



専用アプリ又は活字文書読み上げ装置で、情報を音声で聞く事ができます。



本県は、恵まれた自然条件と、大消費地である首都圏の中央に位置する「地の利」を生かし、野菜、米、麦、花き、果樹、畜産など多彩な農業生産が行われています。特に、野菜は産出額が全国第9位、花き及び小麦は第6位と、全国でも有数の産地です。また、県土の3分の1を占める森林は、木材を供給するだけでなく、水源の涵養、二酸化炭素の吸収・貯蔵などにも大きく貢献しています。

農林水産業・農山村は、食品産業や観光業などと結び付き、地域経済や県民生活に活力をもたらす役割を担っており、また、県土の保全、美しい風景や伝統文化の維持・形成などを通じて県民の安全で豊かな暮らしにも寄与しています。

現在、食料・農林水産業・農山村を取り巻く環境においては、長期的な人口減少に加え、燃料・資材の価格高騰、気候変動による農作物への影響や災害の深刻化など様々な課題が生起する一方、スマート農業技術の発展など活かすべきチャンスも生まれています。

県では、こうした環境変化に的確に対応し、農林水産業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和3年3月に、「埼玉県農林水産業振興条例」に基づき「埼玉県農林水産業振興基本計画」を策定し、様々な取組を進めています。

この計画に基づき、農林漁業者の経営力向上や、農林水産業の競争力・持続力の強化を図り、農林水産物の安定供給や農山村の魅力の発揮を通じて、広く県民の皆様にご喜ばれる農林水産業・農山村の実現を目指します。

具体的には、農林水産業への新規就業を促進し、地域の農林水産業を支える多様な担い手を育成・確保するとともに、経営の法人化を推進し、経営改善を図ります。

また、農業生産基盤の整備により営農条件の改善を図り、高収益を目指す農業経営体を育成するとともに、アグリテック・フードテックと呼ばれる先端技術を活用した農林水産業の活性化、有機農業の普及や県産農産物の需要拡大などのほか、気候変動や家畜伝染病など様々なリスクへの対応に取り組みます。

さらに、農山村が魅力あるものとなるよう、農業用水周辺の水辺空間などの環境整備を行うとともに、適正な森林整備を通じて、水源涵養や土砂流出防止、二酸化炭素の吸収など公益的機能の発揮を促進してまいります。

この冊子は、埼玉の食料・農林水産業・農山村について、現在の姿や令和5年度の主な施策をグラフや写真を使ってまとめたものです。

県民の皆様をはじめ多くの方々の御理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和5年8月

埼玉県知事 大野元裕

目次

- 1 本県の概要 1
- 2 全国的にみた埼玉農林業の地位 2
- 3 埼玉農林業の構造 3
- 4 生産の現状 7
- 5 令和5年度の主な食料・農林水産業・農山村施策 13

埼玉県のシンボル



県章



県民の鳥「シラコバト」



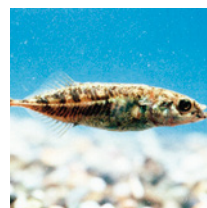
県の木「ケヤキ」



県の花「サクラソウ」



県の蝶「ミドリシジミ」



県の魚「ムサシトミヨ」